

平成29年度NPO活動交流センター 評価表

1 業務の履行状況

評価 : A・B・C・D

A:仕様書等の内容について高レベルで実施され、計画を上回る実績(効果)があり、優れた管理がなされている。  
 B:概ね仕様書等の内容通り実施され、計画どおりの実績(効果)があり、適切な管理が行われている。  
 C:一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。  
 D:仕様書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

	評価指標		実績	達成率	履行状況	自己評価	評価	
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等						
NPOに関する県民理解の促進	①情報収集・情報提供業務	ア 団体、活動、イベント、助成金等の情報収集及び情報発信	ホームページ、メールマガジン・アイーナインフォメーション発行(自主)及びチラシ配架により広く情報発信する。 目標:メルマガ発行 2回/月	2.4回/月	120.8%	届けられた情報のほか、他の市民活動支援センターHPや助成財団HPなどからの情報も積極的に収集し、HPやメルマガによる情報発信をしました。メルマガは、毎月2回発行し、必要に応じて臨時号で対応しました。また、県活7センターと図書館、指定管理のイベント情報を毎月1回20日に発行し情報発信しました。 現在、メルマガ配信登録数は、1,014人・団体。昨年度実績と比較し111人・団体増加。  発信した情報数は、1,353件(昨年1,251件)と昨年度実績と比較して増加しました。そのうち、助成金情報については294件(昨年度314件)でした。特に団体の基盤強化につながる情報を中心に発信しました。	B	B
		イ NPO法人の閲覧資料の整備	随時	-	100%	県から提供あり次第、速やかに配架しました。	B	
		ウ 関連書籍の整備、貸出	計画的な図書購入及び配架コーナーの整理整頓	-	100%	定期的に整理整頓に取り組みました。	B	
		エ 機関誌、資料等情報収集	随時	-	100%	他支援センターや中間支援NPOの情報については、スタッフに回覧をして情報共有したのち、利用者の皆様に活用していただけるように速やかに配架して情報提供に努めました。	B	
		オ 団体の情報公開支援	随時	-	100%	情報提供されたり、新聞等記事に取り上げられた登録団体やNPO法人の活動は、団体ファイルに綴って情報コーナーに配架し、情報発信に努めました。	B	
		カ 蔵書目録の情報提供	随時	-	100%	目録更新の都度、速やかに情報提供に努めました。	B	
		キ ロッカー・レターケースの設置、運用・管理	随時	-	100%	適切な管理に取り組みました。	B	
		ク その他NPO・ボランティア活動の活性化に有益と思われる事項	県民プラザ等での情報発信イベント開催 目標:イベント開催 1回/年	5回/年	500%	情報発信イベント等 ・N活フェア(夏)(秋)を開催(主催) 開催期間(夏)8/1~8/16 会場:団体活動室、ラウンジ 活動体験コーナー10団体、活動紹介展示10団体が参加し、団体の活動紹介を行いました。(期間入場者3,759人体験参加者408人) 開催期間(秋)11/7~11/30 会場:団体活動室、ラウンジ 活動体験コーナー10団体、活動紹介展示9団体が参加し、団体の活動紹介を行いました。(期間入場者7,139人体験参加者577人) ・親子フェスティバルへのコーナー参加(協力) 開催日時 10/3 10時~16時 会場:団体活動室、ラウンジ他 参加児童を対象にスノードーム作成を通じて、NPOに対する理解促進を図りました。(参加者208人) ・復興バザー(春)(秋)を開催(県活主催) 開催日時: 6/10、10/9 10時30分~15時30分 会場:県民プラザ、アイーナスタジオ他 アイーナ各施設スタッフから商品の提供を受けて販売、売上金を岩手県災害義援金募集委員会へ募金しました。(157,893円) 第1回からの募金累計額は1,786,857円。  次世代育成出前講座について、小中学校数校との調整を行いましたが、実現に至りませんでした。学校カリキュラムと調整するには、前年度中に話し合いを進める必要があります。	A	
	学校での次世代育成出前講座の開催(自主)	-	出前講座					

		評価指標		実績	達成率	履行状況	自己評価	評価
		県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等					
NPOに関する 県民理解の促進	②ホームページ等の運営管理	ア ホームページ、掲示板の運営管理	提供された情報等の迅速な発信 目標:HP更新 20日/月 HPアクセス数 7,000件/月 ブログアクセス数 10,000件/月 FBリーチ数 1,500件/月	23.1日/月 4,290/月 17,828/月 5,080/月	115.4% 61.3% 178.3% 338.7%	HP更新日数:23.1日/月(合計277日) HPアクセス数:4,290件/月(合計51,483件) ブログアクセス数:17,828件/月(合計213,940件) FBリーチ数:5,080件/月(合計60,957件) 平成26年度からSNSの活用を進め、HPのほかブログやFB、ツイッターを活用した情報発信を通じより多くの方にアクセスして頂ける状態を確保し、気軽に獲得しやすい情報提供ツールを活用した情報発信に努めました。	B	A
	③相談等業務	ア 協働、NPO、ボランティア等に関する相談対応	目標:相談数 30件/月	23件/月	76.7%	1件1件の相談に対してスタッフが充実した対応をしました。(合計275件) なんでも相談会をNPO法人シニアパワーいわてと協働で開催し、毎月1回開催しました。 開催日時:毎月第4土曜日 13:00~16:00 会場:N活センター (実施日 4/22 5/20 6/24 7/22 8/26 9/16 10/21 11/25 12/16 1/27 2/24 3/24)	C	B
		イ 活動希望者と受入れ団体、協働のコーディネート	コーディネート機能、体制の構築と県社協との連携	-	100%	相談された案件については、県社協やボランティア受け入れ福祉施設等関係機関を紹介するなど適切な対応をしました。	B	
		ウ 出前相談会の実施	目標:出前相談会 9回/年 6月~2月の間に、中間支援NPOや市町村等と調整の上、開催	14回/年	155.6%	釜石会場(11/22・1/24) 花巻会場(12/11) 二戸会場(12/15・1/16) 宮古会場(1/12・2/1・2/9・3/9) 大船渡会場(1/19) 久慈会場(1/27) ※詳細は別紙 ※宮古会場(2/1開催)、大船渡会場の相談者は、その後継続相談となっています。	A	
	④運営委員会の設置運営	ア 第三者評価の実施	4回/年 日程調整の上、開催	4回	100%	(実施日 第1回 7/13 第2回 11/6 第3回 1/17 第4回 3/16)	B	B
⑤災害時の対応	ア 災害時における災害ボランティアセンターとの連携	随時。定期的な情報交換を行う。	-	100%	情報誌編集会議の際に県社会福祉協議会ボランティア担当者と意見交換を行いました。 今年度は、県社協主催の研修に参加をしました。  ボランティア活動研究会~災害ボランティアセンター設置・運営について考える~(10/6) ボランティアコーディネーター研修会(1/11)  他NPO団体と連携し、「いわてNPO災害支援ネットワーク」を設立し、災害時の迅速な支援体制を整備し、県社協や災害現地との情報共有につとめました。 総会出席(9/13・2/22)	A	A	
情報誌	①NPO・ボランティア活動情報誌「PIN」の作成、配布	ア 作成・発行 イ 編集会議	4回/年 発行(6月、9月、12月、3月) 各5,000部	4回	100%	PIN発行 6月、9月、12月、3月発行済 各5000部  編集会議を開催し、特集記事、スケジュール調整等を行いました。	B	B

	評価指標		実績	達成率	履行状況	自己評価	評価	
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等						
県活センター運営調整	①総合受付	ア 各センター等への案内	随時	-	100%	県活センター(国際、環境学習、青少年、男女共同参画、子育て、高齢者の各センター)の訪問予約者等あらかじめ情報提供を頂くことでスムーズな案内をしました。	B	B
		イ 団体活動室等貸出業務及び利用状況取りまとめ	目標: 貸室利用者数 17,000人 貸室利用件数 1,800件 稼働率 95.0% 共有スペース利用者数 66,000人	19,762人 1,991件 96.7% 72,934人	116.2% 110.6% 101.7% 110.5%	H29新規登録団体数 27団体(合計334団体) 予約ルールに沿った適切な貸出業務、突発的な事案にも柔軟に対応しました。 また、利用票記入についての呼びかけを各テーブルに設置しており、ラウンジ等利用者から提出された利用票を合わせて団体活動室等利用票を翌日にデータ入力して状況管理に努めました。	A	
		ウ 利用者アンケートの実施	1回/年	1回	100%	1月実施 回収率 65.3%(213団体/326団体) アンケート結果については、県担当課とその対応等について協議し、回答を公表していくこととしています。	B	
		エ 利用者懇談会の開催	1回/年	1回	100%	開催日 2/7 12団体が参加 活動センターに対する意見・要望はほとんどなく、それぞれの団体の活動紹介を中心とした話であり、団体交流の要望が寄せられました。	B	
	②運営調整会議の開催	ア 連絡調整会議の開催	1回/月 情報共有・発信などの協力体制構築	毎月1回	100%	毎月第3木曜日に県民活動交流センター運営会議を開催し、アイーナ各部署との情報共有に努めました。	B	B
③共用施設・備品の貸出等	ア 施設、備品の貸出 イ 修繕の対応	随時	-	100%	利用希望が重複した際には、県備品だけではなく、法人所有の備品で対応可能なものについて対応するなど利用者の利便性アップに努めました。 修繕及び更新については、必要に応じて県担当課と協議し、迅速に対応しました。	B	B	
その他	①市民活動活性化	ア NPO対象専門研修会の開催	入門講座 全6回 2回/月:5月~7月 出前講座 全7回 1回/月:8月~2月	24回 5回	366.7% 71.4%	入門講座 ※詳細は別紙 ・NPO基礎講座 22回(6/8 7/13 8/10 9/14 10/12 11/9 12/14 1/11 2/8 3/8・22) 月にテーマを設定して、6月~3月まで第2木曜日に昼と夜に開催しました。 ・県民活動交流センター活用講座の開催 2回(9/5 9/19)  出前講座 ※詳細は別紙 ・NPO出前講座 宮古 5回(1/12 2/9 3/9) テーマを変えて午後、夜の各2回計6回を計画したが、3/9の夜の部は申込みがなかったことから中止をしました。 ※県内の市部において市民活動支援センターが設置されていない宮古市を重点にして、実施しました。	A	B
		イ 行政における事務事業の協働化推進	随時	-	100%	月次報告の際に、必要に応じて県担当課との意見交換を行いました。	B	
		ウ 各種セミナー(協働推進、新しい公共)・協働のまちづくり出前講座の開催	3回/年:沿岸地域	2回	66.7%	市民活動入門講座 久慈(1/27) 協働のパートナーとなる市民活動の理解促進のための講座 自治会等スタッフ講座 久慈(1/27) 公民館等を指定管理していくため、受託先である自治会役員等を対象にした協働の在り方、業務内容等についての講座	B	
		エ 先進事例情報発信	上記セミナー等に合わせて、事例発表会を実施	-	100%	県内の先進事例について紹介	B	
		オ その他	NPO団体等とのイベント等の共催や後援、運営支援	-	100%	団体活動室で開催されたNPO法人未来図書館の「未来パスポート」事業について後援し、社会人講師も派遣しました。(6/29 7/4)	A	



	評価指標		実績	達成率	履行状況	自己評価	評価	
	県の要求水準・仕様書	事業計画・目標値等						
その他	②各地域の中間支援組織等との連携	ア 中間支援ネットワーク会議の開催	4回/年 5月開催以降、日程調整の上、開催	5回	125%	定例情報交換のほか、N活センターも10年を経過し、中間支援ネットワークの構成団体も入れ替わりがあったりと環境変化がある中で、今後、岩手県の中間支援NPOとしてどのような活動をしていくのか、その在り方についてワークショップを重ねることを重視し、次年度以降の活動の柱を話し合いました。中間支援NPOの在り方をワークショップ形式で検討しました。  定期総会 5/26 定例会WS 7/19 10/16 11/21 1/9	A	A
		イ NPOの薬箱「Q&A」の作成(自主)	いわてNPO中間支援ネットワークと連携して実施	-	100%	中間支援NPOの在り方についてのワークショップを優先し、自主企画の実施を見送りました。 NPO法人向け専門講座「決算書作成」 開催日時:3/15 13:30~16:00 受講者:6団体8名	B	
	③NPO等ネットワークの構築・拡充	ア NPOフリートークの開催	4回/年	3回	75%	N活フェア(夏)登録団体交流茶話会の開催(8/5・6)(参加者12人) N活フェア(秋)登録団体交流会の開催(11/12)(8団体12人参加)	B	B
	④職員スキルアップ研修	ア NPO基礎研修(自主)		-	100%	講座講師等を担うスタッフ育成のため、経験の不足しているスタッフがNPO入門講座や出前相談会に帯同し、の現地研修を行いました。(2名)	B	
		イ 専門研修受講		-	100%	・日本ファンドレイジング協会 ファンドレイザー研修受講(1名) 12/1 準ファンドレイザー検定受講 ・いちのせき市民活動センター主催 みちのくワークショップ受講(1名) ファシリテーションと広報スキルについて学ぶ ・ワークショップデザイン研修受講(1名) 参加型の場提供プログラムの作り方を学ぶ	B	B
	③インターンシップ・ボランティアの受入れ	ア ボランティア登録 イ インターンシップの受入れ		-	100%	ア 登録者:2名 (県社協の2017ボランティア体験inいわて ボランティア体験プログラムに応募) イ 今年度は学生の希望者がなかったことから受け入れがありませんでしたが、NPO法人いわてパノラマ福祉館より障がい者の就労支援実習を受け入れました。 実施期間:3/13~16	B	B
	④業務委託者と調整	月次報告書による業務遂行確認 (あわせて前金払申請書提出)	毎月	-	100%	毎月10日実施	B	B